

ペタニア たより

社会福祉法人 政樹会 ケアハウス・デイサービスセンター サービス付き高齢者向け住宅

呉ベタニアホーム **呉ベタニアホーム長迫** **ハレルヤ**
 tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980



「ひろしまの国保 5月号」に掲載されました

高校3年生の時、奨学金を受ける人の名前が発表される日のごです。ラルフさんは、成績が良かったので、自分の名前が呼ばれることを確信していました。ところが、名前を呼ばれなかったのです。この事によって、自分の心を穏やかにしてはいただけなくなりました。自分が黒人であることで受けた差別を思い起こしたからです。

そうした時に、お母さんの言葉を思い起こしたのです。「亡くなる前のあの言葉「信仰と希望と愛」を思い起こし、怒りを鎮め、神様にお祈りをしました。後に、ラルフさんは、国連の創設

ラルフ・パンチさんは、12歳の時、お母さんが病気で亡くなりました。亡くなる前、お母さんは「ねえ、ラルフ、どんなに辛い時も、絶対に『信仰と希望と愛』を忘れてはダメよ、いいー」と言い残しました。それから数週間後、お父さんが亡くなりました。その後、おばあさんに引き取られ、中学、高校へと進みました。



インマヌエル
 呉教会牧師
内山 忠信
 (常務理事)

心を支える言葉

平熱の低い私が、最近38度台の熱が続いた。そのため終日、床に伏していた。夢をよく見た。今の私位の歳で亡くなった両親が、若く元気な姿で看病してくれている夢。テストに焦り、仕事に負われる夢など…今は年金生活者なのだと安堵する一方で、現在の自分に「反省しきりである。気になる夢があった。刺青をした男衆と混浴中の私。」ネーさん。わしらは高齢の人のことは気にもしていないが、もっと体操して、体を造ってはどうかね?」と言った。ぞっとして夢から覚めた。毎月一回、ベタニアホームで十数人の人達が祈り会をしている。祈り会后、ジョン・バンヤン著『天路歷程』の読書会で、私は「多弁氏」と呼ばれている登場人物の事が気になって頭から離れない。この人物は神様や聖書について話すのが好きな如才のない人。ところが近づいて交わってみると、取り引き相手を騙したり、出し抜いたりする。信仰の話をするので満足して、祈りもなければ悔い改めもない。

私は「多弁氏」を反面教師に考えて、賜った生命を生きようと思っている。

こまった時に思い出される用がすめば、すぐ忘れられるぞうきん
 台所のすみに小さくなりむくいを知らず
 朝も夜もよこんで仕えるぞうきんになりたい

この詩は「ぞうきん」という詩です。作者は、河野進牧師です。

「ぞうきん」という詩から、お互いの人間関係、仕事のあり方、互いに支え合って生きる心構えを教えられます。

人生には出会いがあります。その出会いは偶然のことではありません。出合いを大切に、良き関係を築きたいものです。

お互いがもっと相手を思いやり、必要な時に助け合う、そのような愛の心に満ちた社会となったら、どんなに幸いでしょうか? まずは、今置かれた所で「ぞうきん」の心を実践したいものです。

夢

児玉 雪江

日々の歩みの中で

告知 2017年5月、
レーナ・マリアコンサート開催



会場: 呉文化センター
 開催日: 5月27日(土)
 入場料: 2,500円

日本キングス・ガーデン連合、いのちのことば社との共催で、レーナ・マリア コンサートを開催します。

レーナ・マリアさんは、日本でコンサートや本を通して、多くの人に、「夢と希望と勇気」を与えて来ました。来年5月、レーナ・マリアさんが呉に来て下さいます。今から楽しみにしてお待ち下さい。

社会福祉法人 政樹会 <http://www.bethania.or.jp/>

〒737-0045 広島県呉市本通4丁目3-21 理事長 佐藤孝義

や平和維持活動に関わり、黒人として初めて、ノベル平和賞を受賞しました。

どんな時にも、ラルフさんの心を支えたのが、「信仰と希望と愛」でした。この言葉は聖書の言葉です。

聖書の中に「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」という言葉があります。人間は神様によって造られました。神様は、私たちが心に支える言葉を持って生きるように造られました。私たちが生きていくために必要なのが「神の口から出る一つ一つの言葉」聖書なのです。

聖書は、神さまから私たちひとりひとりへの神さまからのお手紙です。聖書を通して、本当の神さまを知ることができます。それから、自分の本当の心の姿を知ることができます。そして、神さまに愛されていることを知ることができます。

ある時、一人の青年が自殺を考えました。決めた時間が来たら実行しようとしていました。ところが時計が壊れているのを知らず、寝ていました。時計が壊れていることに気づいた時、考えました。

時計が壊れたら時計屋に修理してもらおう、今の自分は壊れたようなもの、どこへ行けばなおるのかと…

それから様々な宗教に行き、本当の解決を聖書から得たそうです。



あなたの心を支える言葉は、何でしょうか？ 聖書の言葉は、あなたの心を強め、支えます。

昨年6月から毎月第4の日曜日の朝、10時15分～11時15分、本通のケアハウスの3階で「日曜朝のつどい」を開催しています。この集まりを通して、ひとりでも多くの方が、聖書の言葉から励まされ、心が強められ、幸せな日々となる事を願っています。ぜひ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

長迫グループホームの日常 清水裕貴

トントドントー朝と夕方、グループホームの食堂には叩くような音が響き渡ります。皆さんの洗濯物をしわ伸ばしする作業です。しわ伸ばしは、ほぼ毎日利用者が手伝って下さり、特にこの施設で最年長のSさんは良く手伝って下さいます。一日で出る洗濯物はかなりの量ですが、体調の良い時には手伝って下さり、本人も「できることがあればやるからね」といってもやる気を見せておられます。ーさんも「やることがあるならもってきんさいや」と洗濯物を一緒になってたたみ、しわ伸ばしを手伝って下さいます。それを見て、周りの利用者さんとも一緒になって手伝って下さいます。

朝食、夕食は施設で手作りしています。米とぎ、お盆拭きをする等、できる事をなるべくやっていたり、ただけのように、声かけを行っています。日曜日には、手作りお菓子の材料がそろえば手作りお菓子を利用者と一緒作り、材料をかき混ぜたりしていただきます。こうして日常生活動作をみながら行い、それにより利用者同士、利用者と職員同士の交流が生まれ、行き違いはあっても、和気あいあいとした生活をしています。介護職員として、このようないい雰囲気が続くよう、利用者の笑顔を守っていきけるように頑張りたいです。

ハレルヤがテレビで紹介されました！

ハレルヤ管理者の大上望さんが、TSSの番組『君のスピードで～ボくらがつくる未来のカタチ』で紹介されました。



「ひろしまの国保5月号」で特集されました！

政樹会の活動内容や、地域活性化にかける思いについても紹介いただきましたので、是非ご覧ください。



ベタニアのホームページをご覧ください。 <http://www.bethania.or.jp/>

ハレルヤの看板



2月に、ハレルヤ前の老朽化した商店街の屋根が撤去されました。この事で、ハレルヤの前は、とても明るくなりました。

3月下旬に、ハレルヤの玄関前の修繕を行ない、新しく看板を設置しました。看板には、ベタニアのシンボルマークを付けました。新しい看板は、地域の風景に馴染んで来ています。多くの人々に仕え、地域に貢献する施設であることを目指します。今後、より一層お願いいたします。

オンギジャンイ来訪

韓国の賛美グループ「オンギジャンイ」が、5月29日(日)「日曜朝のつどい」スペシャルで、賛美して下さいました。

2011年に続いて、二度目の来訪でした。5年ぶりに呉に来ることを楽しみにしていたメンバーもいました。最初から最高のハーモニーを聞かせて下さいました。集われた人々の心に感動を与えました。特に「神さまの約束」という歌は、多くの人々を慰め、力づけました。

